

日の出町

子ども・子育て支援に関するニーズ調査

〔就学前児童の保護者用〕

調査ご協力のお願い

日頃は町政にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

日の出町では、子どもたちの健やかな成長を支援し、子育てしやすい地域づくりに努めています。

このたび、子ども・子育て支援の環境のさらなる充実を目指し、小学生までのお子さんのおよそ半数を抽出し、保護者の方に利用実態・要望等をお聞きする「子ども・子育て支援に関するニーズ調査」を実施いたします。

ご回答いただいた調査内容は、町や国・都の子ども・子育て支援施策の検討にのみ利用させていただきます。回答者個人が特定されたり、他の目的に利用されたりすることは一切ございません。

つきましては、ご多忙のことと存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成 25 年 9 月

日の出町長 橋本 聖二

ご記入にあたってのお願い

1. 宛名のお子さんの保護者の方が、回答日現在の状況等をこの調査用紙に直接お書きください。
2. この調査は無記名です。
3. 回答は、選択された番号に○をつけていただく場合と、数字をご記入いただく場合があります。また、「その他」の場合は（ ）内に具体的な内容をお書きください。
4. 時間（時刻）を回答する場合は、24時間制（例：午後6：00→18：00）でお書きください。
5. 一部の設問は、「ことわり書き」や「矢印」に従ってご回答ください。特に「ことわり書き」などが無い場合は、次の設問にお進みください。

また、調査項目には日の出町では実施されていない事業や日の出町内に無い施設も含まれております。

6. ご記入後、無記名で返信用の封筒に入れ、10月11日（金）までに郵便ポストにご投函（切手不要）ください。

返信用封筒のバーコードは本調査専用の郵便番号「190-0190」を表すものであり、個人を特定するものではありません。

◎本調査への質問又は不明な点がありましたら、下記までお問い合わせください。

日の出町役場 子育て福祉課 子育て支援係 電話（042）597-0511（内線）299

回答するに当たってお読みください

あなたがお住まいの市町村では、子ども・子育て支援法（平成 24 年法律第 65 号）に基づく新たな子ども・子育て支援の制度（以下「子ども・子育て支援新制度」といいます。）の下で、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、5 年間で一期とする子ども・子育て支援事業計画を作成し、計画的に給付・事業を実施することとされています（平成 27 年度から実施予定）。

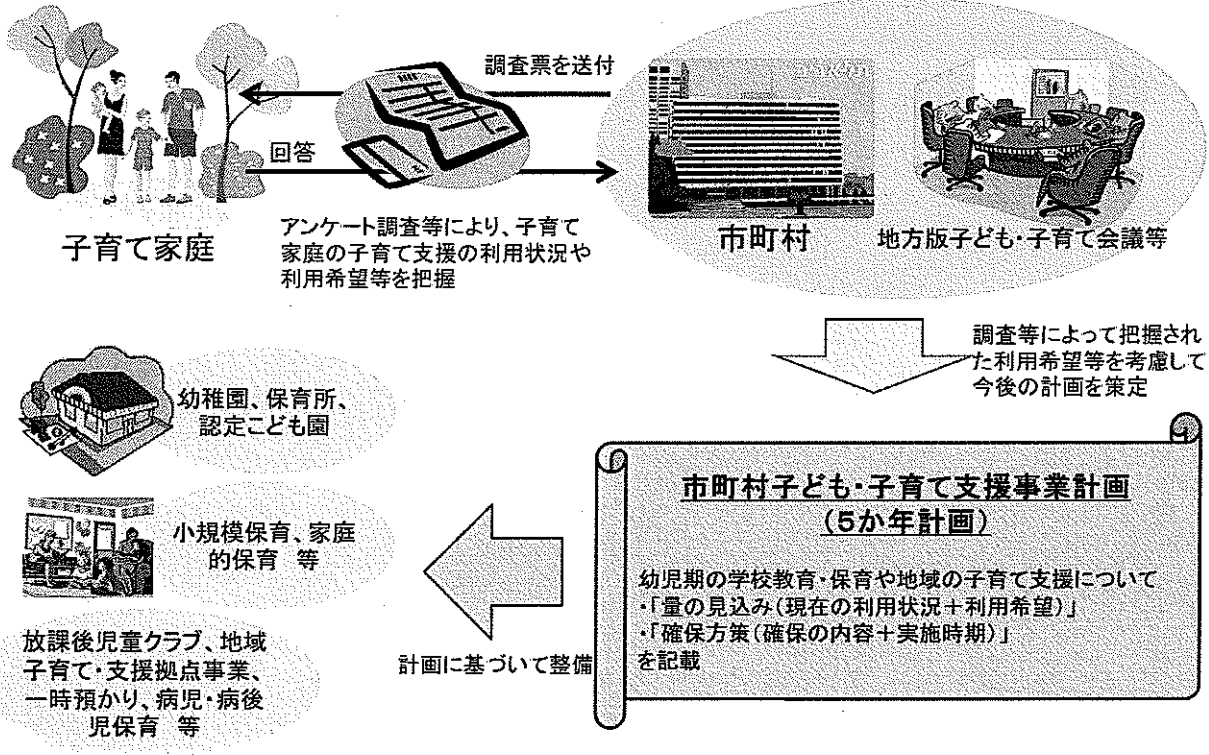
本調査は、この計画で確保を図るべき教育・保育・子育て支援の「量の見込み」を市町村が算出するため、住民の皆さんの教育・保育・子育て支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握するために行うものです。

なお、ここで回答していただいた内容（施設や事業の利用希望等）は、施設や事業の具体的な利用の可否を確認・決定するものではありません。将来の利用希望を変更していただいて構いません。

また、この制度は、以下のような考え方に基づいています。

- 子ども・子育て支援新制度は、急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に対応して、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的としています。
- 子どもの成長においては、乳児期におけるしっかりとした愛着形成を基礎とした情緒の安定や他者への信頼感の醸成、幼児期における他者との関わりや基本的な生きる力の獲得、学童期における心身の健全な発達を通じて、一人ひとりがかけがえのない個性ある存在として認められるとともに、自己肯定感を持って育まれることが重要です。子ども・子育て支援新制度は、社会全体の責任として、そのような環境を整備することを目指しています。
- 子ども・子育て支援は、以上のような考え方をもとに、保護者には子育てについての第一義的責任があることを前提としつつ、保護者が子育てについての責任を果たすことや、子育ての権利を享受することが可能となるような支援を行うものです。
地域や社会が保護者に寄り添い、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることを通じて、保護者が自己肯定感を持ちながら子どもと向き合える環境を整え、親としての成長を支援し、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることができるよう支援を目指しています。

いただいた回答は地域の子育て支援の充実に生かされます



(用語の定義)

この調査票における用語の定義は以下のとおり

- ・ 幼稚園 : 学校教育法に定める、3~5歳児に対して学校教育を行う施設 (学校教育法第22条)
- ・ 保育所 : 児童福祉法に定める、保育を必要とする0~5歳児に対して保育を行う施設 (児童福祉法第39条)
- ・ 認定こども園 : 幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設 (就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第2条第6項)
- ・ 子育て : 教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる支援
- ・ 教育 : 問15までにおいては家庭での教育を含めた広い意味、問16以降においては幼児期の学校における教育の意味で用いています

お住まいの地域についてうかがいます。

問1 お住まいの地区として当てはまる答えの番号1つに○をつけてください。

1 平井地区

2 大久野地区

封筒の宛名のお子さんをご家族の状況についてうかがいます。

問2 宛名のお子さんと同居しているご家族の中で、日の出町に一番長く住んでいる方の居住歴を教えてください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 5年未満

2. 5年以上10年未満

3. 10年以上20年未満

4. 20年以上

問3 宛名のお子さんの生年月月をご記入ください。(〔 〕内に数字でご記入ください)

平成〔 〕年〔 〕月生まれ

問4 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数を〔 〕内に数字でご記入ください。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月月をご記入ください。

きょうだい数

〔 〕人

末子の生年月

平成〔 〕年

〔 〕月生まれ

問5 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 母親

2. 父親

3. その他()

問6 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 配偶者がいる

2. 配偶者はいない

問7 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 父母ともに

2. 主に母親

3. 主に父親

4. 主に祖父母

5. その他()

問11 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1 いる／ある ⇒ 問11-1へ

2 いない／ない ⇒ 問12へ

問11-1 問11で「1.いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|----------------|---------------------|
| 1 祖父母等の親戚 | 2 友人や知人 |
| 3 近所の人 | 4 子育て支援施設（児童館等）・NPO |
| 5 保健所・保健センター | 6 保育士 |
| 7 幼稚園教諭 | 8 民生委員・児童委員 |
| 9 かかりつけの医師 | 10 自治体の子育て関連担当窓口 |
| 11 子ども家庭支援センター | 12 その他（ ） |

問12 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

宛名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

問 13 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

(1) 母親 【父子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

<ol style="list-style-type: none"> 1. フルタイム（1 週 5 日程度・1 日 8 時間程度の就労）で就労しており、 産休・育休・介護休業中ではない 2. フルタイム（1 週 5 日程度・1 日 8 時間程度の就労）で就労しているが、 産休・育休・介護休業中である 3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、 産休・育休・介護休業中ではない 4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、 産休・育休・介護休業中である 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない 6. これまで就労したことがない 	<p>⇒ (1) -1へ</p> <p>⇒ (2)へ</p>
--	--------------------------------

(1) -1 (1) で「1.~4.」(就労している) に○をつけた方にうかがいます。週当たりの「就労日数」、1 日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、最も多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。([] 内に数字でご記入ください。)

1 週当たり [] 日	1 日当たり [] 時間
--------------	---------------

(1) -2 (1) で「1.~4.」(就労している) に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は不定期に○をつけ、最も多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。([] 内に数字でご記入ください。)

家を出る時刻 [] 時	帰宅時刻 [] 時	不定期
--------------	------------	-----

(2) 父親 【母子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

<ol style="list-style-type: none"> 1. フルタイム（1 週 5 日程度・1 日 8 時間程度の就労）で就労しており、 育休・介護休業中ではない 2. フルタイム（1 週 5 日程度・1 日 8 時間程度の就労）で就労しているが、 育休・介護休業中である 3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、 育休・介護休業中ではない 4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、 育休・介護休業中である 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない 6. これまで就労したことがない 	<p>⇒ (1) -1へ</p> <p>⇒ 問 15へ</p>
--	---------------------------------

(2)-1 (2)で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、最も多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(〔 〕内に数字でご記入ください。)

1週当たり 〔 〕日	1日当たり 〔 〕時間
------------	-------------

(2)-2 (2)で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は不定期に○をつけ、最も多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(〔 〕内に数字でご記入ください。)

家を出る時刻 〔 〕時	帰宅時刻 〔 〕時	不定期
-------------	-----------	-----

問14 問13の(1)または(2)で「3.4.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問15へお進みください。

フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある 2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない 3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望 4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい |
|---|

(2) 父親

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある 2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない 3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望 4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい |
|---|

問15 問13の(1)または(2)で「5.以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6.これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問16へお進みください。就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する〔 〕内に数字をご記入ください。

(1) 母親

- | | |
|---|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない) 2. 1年より先、一番下の子どもが〔 〕歳になったところに就労したい 3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい <p>→希望する就労形態</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 10px;"> ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)
 イ. パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)
 →1週当たり〔 〕日 1日当たり〔 〕時間 </td> </tr> </table> | ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)
イ. パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)
→1週当たり〔 〕日 1日当たり〔 〕時間 |
| ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)
イ. パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)
→1週当たり〔 〕日 1日当たり〔 〕時間 | |

(2) 父親

- | | |
|---|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない) 2. 1年より先、一番下の子どもが〔 〕歳になったところに就労したい 3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい <p>→希望する就労形態</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 10px;"> ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)
 イ. パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)
 →1週当たり〔 〕日 1日当たり〔 〕時間 </td> </tr> </table> | ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)
イ. パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)
→1週当たり〔 〕日 1日当たり〔 〕時間 |
| ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)
イ. パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)
→1週当たり〔 〕日 1日当たり〔 〕時間 | |

問 17 すべての方にうかがいます。現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。認可保育所の場合、世帯収入に応じた利用料が設定されています。

1. 幼稚園 (通常の就園時間の利用)	2. 幼稚園の預かり保育 (通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)
3. 認可保育所 (国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの)	4. 認定こども園 (幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)
5. 小規模な保育施設 (国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員概ね6～19人のもの)	6. 家庭的保育 (保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業)
7. 事業所内保育施設 (企業が主に従業員用に運営する施設)	8. 認証保育所 (認可保育所ではないが、東京都が認証した施設)
9. 定期利用保育事業 (パートタイム勤務や短時間就労など様々な勤務形態に対応して継続的に預かる保育事業)	10. その他の認可外の保育施設
11. 居宅訪問型保育 (ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業)	12. ファミリー・サポート・センター (地域住民が子どもを預かる事業)
13. その他 ()	

問 17-1 教育・保育事業を利用したい場所についてうかがいます。「1.」「2.」のいずれかに○をつけてください。

1 日の出町内	2 他の市区町村
---------	----------

問 20 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑩の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。なお、事業によっては、お住まいの地域で実施されていないものもあります。

	A	B	C
	知っている	これまでに利用 したことがある	今後利用したい
①母親（父親）学級、両親学級、育児学級	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
②保健センターの情報・相談事業	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
③家庭教育に関する学級・講座	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
④教育相談室	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑤保育所や幼稚園の園庭等の開放	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑥子ども家庭支援センター	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑦自治体発行の子育て支援情報誌	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑧次世代育成クーポン	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑨次世代育成住宅	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑩赤ちゃんふらっと	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ

問 25 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を〔 〕内に数字でご記入ください。）なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1 利用したい	計〔 〕日
ア 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、 リフレッシュ目的	〔 〕日
イ 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院 等	〔 〕日
ウ 不定期の就労	〔 〕日
エ その他（ ）	〔 〕日
2 利用する必要はない ⇒ 問26へ	

問 25-1 へ

問 25-1 問 25 で「1. 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。問 25 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 大規模施設で子どもを保育する事業（例：幼稚園・保育所等）
2. 小規模施設で子どもを保育する事業（例：地域子育て支援拠点等）
3. 地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）
4. その他（ ）

問 26 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も〔 〕内に数字でご記入ください。

	1年間の対処方法	日数
1 あった	ア. (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった	〔 〕 泊
	イ 短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した （児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）	〔 〕 泊
	ウ. イ以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等） を利用した	〔 〕 泊
	エ. 仕方なく子どもを同行させた	〔 〕 泊
	オ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	〔 〕 泊
	カ. その他（ ）	〔 〕 泊
2. なかった		

問 26 で「1.あった ア.(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」と答えた方にうかがいます。

⇒ア以外を選択した方は 問 27 へ

問 26-1 その場合の困難度はどの程度でしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|---------|--------------|------------|
| 1 非常に困難 | 2. どちらかという困難 | 3 特に困難ではない |
|---------|--------------|------------|

**宛名のお子さんが4歳以上である方に、小学校就学後の
放課後の過ごし方についてうかがいます。**

⇒ 4歳未満の方は、問31へ

問27 宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。また、「学童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も〔 〕内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）18時のように24時間制でご記入ください。

「学童クラブ」…地域によって放課後児童クラブなどと呼ばれています。保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 自宅	週	〔 〕	日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週	〔 〕	日くらい
3. 習い事 (ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	週	〔 〕	日くらい
4. 児童館	週	〔 〕	日くらい
5. 放課後子ども教室 ※1	週	〔 〕	日くらい
6. 学童クラブ	週	〔 〕	日くらい → 下校時から 〔 〕時まで
7. ファミリー・サポート・センター	週	〔 〕	日くらい
8. その他（公民館、公園など）	週	〔 〕	日くらい

※1 「放課後子ども教室」…地域の方々の協力を得て、放課後や週末に町内の各小学校で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。

問28 宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週当たり日数を数字でご記入ください。また、「学童クラブ」の場合には利用を希望する時間も〔 〕内に数字でご記入ください。時間は、必ず（例）18時のように24時間制でご記入ください。

1. 自宅	週	〔 〕	日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週	〔 〕	日くらい
3. 習い事 (ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	週	〔 〕	日くらい
4. 児童館	週	〔 〕	日くらい
5. 放課後子ども教室	週	〔 〕	日くらい
6. 学童クラブ	週	〔 〕	日くらい → 下校時から 〔 〕時まで
7. ファミリー・サポート・センター	週	〔 〕	日くらい
8. その他（公民館、公園など）	週	〔 〕	日くらい

※だいたいのこととなりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

問 29 問 27 または問 28 で「6. 学童クラブ」に○をつけた方にうかがいます。

宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、学童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。(1)(2)それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、〔 〕内に(例)09時~18時のように24時間制でご記入ください。

(1) 土曜日

1. 低学年(1~3年生)の間は利用したい	} ⇒	利用したい時間帯
2. 高学年(4~6年生)になっても利用したい		〔 〕時から 〔 〕時まで
3. 利用する必要はない		

(2) 日曜・祝日

1. 低学年(1~3年生)の間は利用したい	} ⇒	利用したい時間帯
2. 高学年(4~6年生)になっても利用したい		〔 〕時から 〔 〕時まで
3. 利用する必要はない		

問 30 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の学童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、〔 〕内に(例)09時~18時のように24時間制でご記入ください。

1. 低学年(1~3年生)の間は利用したい	} ⇒	利用したい時間帯
2. 高学年(4~6年生)になっても利用したい		〔 〕時から 〔 〕時まで
3. 利用する必要はない		

問 31 で「2. 取得した（取得中である）」と回答した方にうかがいます。

⇒ 該当しない方は、問 32 へ

問 31-2 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

(1) 母親

- | |
|--------------------|
| 1. 育児休業取得後、職場に復帰した |
| 2. 現在も育児休業中である |
| 3. 育児休業中に離職した |

(2) 父親

- | |
|--------------------|
| 1. 育児休業取得後、職場に復帰した |
| 2. 現在も育児休業中である |
| 3. 育児休業中に離職した |

問 31-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問 31-3 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。どちらか 1 つに○をつけてください。※年度初めでの認可保育所入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「1.」に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1.」を選択してください。

(1) 母親

- | | |
|-------------------------|------------|
| 1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった | 2. それ以外だった |
|-------------------------|------------|

(2) 父親

- | | |
|-------------------------|------------|
| 1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった | 2. それ以外だった |
|-------------------------|------------|

問 31-4 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。〔 〕内に数字でご記入ください。

(1) 母親

実際の取得期間	〔 〕 歳	〔 〕 ヶ月	希望	〔 〕 歳	〔 〕 ヶ月
---------	-------	--------	----	-------	--------

(2) 父親

実際の取得期間	〔 〕 歳	〔 〕 ヶ月	希望	〔 〕 歳	〔 〕 ヶ月
---------	-------	--------	----	-------	--------

問 31-5 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。〔 〕内で数字でご記入ください。

(1) 母親

〔 〕 歳	〔 〕 ヶ月
-------	--------

(2) 父親

〔 〕 歳	〔 〕 ヶ月
-------	--------

問 31-4 で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。

問 31-6 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

(1) 「希望」より早く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

①母親

1. 希望する保育所に入るため	2. 配偶者や家族の希望があったため
3. 経済的な理由で早く復帰する必要があった	4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
5. その他 ()	

②父親

1. 希望する保育所に入るため	2. 配偶者や家族の希望があったため
3. 経済的な理由で早く復帰する必要があった	4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
5. その他 ()	

(2) 「希望」より遅く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

①母親

1. 希望する保育所に入れなかったため	2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため
3. 配偶者や家族の希望があったため	4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
5. 子どもをみてくれる人がいなかったため	
6. その他 ()	

②父親

1. 希望する保育所に入れなかったため	2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため
3. 配偶者や家族の希望があったため	4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
5. 子どもをみてくれる人がいなかったため	
6. その他 ()	

問 31-2 で「2. 現在も育児休業中である」と回答した方にかがいます。

問 31-9 宛名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

- | | |
|---------------------|----------------|
| 1 1歳になるまで育児休業を取得したい | 2 1歳になる前に復帰したい |
|---------------------|----------------|

(2) 父親

- | | |
|---------------------|----------------|
| 1 1歳になるまで育児休業を取得したい | 2 1歳になる前に復帰したい |
|---------------------|----------------|

